

本四料金問題

国土交通省が発表した6月実施予定の高速道路の新料金で、瀬戸大橋など本州四国連絡道路の料金が割高に設定されたことに、岡山、広島、香川県など関係自治体が反発を強めている。四国の知事らは、国交省や与党・民主党幹事長室に是正を要望。参院選を視野に民主党側からの要請もあり、国会審議で見直しの可能性も出てくる中、本四道の新料金の問題点を探った。(岡山一郎、藤岡慎吾)



本四道の料金について民主党の生方副幹事長(右)に要望する真鍋香川県知事(左から3人目) 4月21日

「東京や大阪から西に車で行くのに、九州は2千円で行けるが、四国へは5千円かかる」

4月21日、国会内の民主党幹事長室で、真鍋武紀香川県知事はこう指摘し、「四国は条件不利地域となり、経済などに影響する」と訴えた。新料金では普通車の上限が一般高速道2千円に対し、本四道は別料金で上限3千円。一般高速道も利用すれば計5千円が必要となる。

28日には徳島、兵庫両県知事も国交省や民主党に対し、神戸淡路鳴門道の料金見直しを要望した。

本四道は、一般高速道とは別の料金体系で課金されてきた。現在、一般高速道が1キロ当たり24・6円なのに対し、本四道は海峽部250円余と10倍以上、陸上部でも28円余と割高だ。

一般高速道との料金一体化の累計は5千億円近くに上る。

本四道では岡山、広島、香川県など関係10府県市が、建設債務償還のため1970年度から出資金を負担してきた。2009年度、岡山、香川県が26・5億円、広島県が53億円など。地方側負担の累計は5千億円近くに上る。

出資金負担

「事前の連絡がなく発表され、極めて遺憾。現況では出資に応じる考えはない」。石井正弘岡山県知事が23日の記者会見で指摘したように、地元自治体の不満は出資金負担にも向けられている。

見直しの可能性

参院選野

た。加戸守行愛媛県知事は地域が出資している本四道の料金が割高で、出資がない一般高速道の方が安い。社会正義に反している」と憤る。

「県として追加出資には反対する」。湯崎英彦広島県知事は28日、記者会見で明言した。本四道の料金が割高のままで追加出資には応じられないなど条件付きも含めれば、10府県市の首長のほとんどが反対姿勢を表明している。

タイムリミット

国交省が本四道を割高にした理由は、「フェリーやJRへの配慮」。本四道の料金値下げには、本四間の総合的な交通のあるべき姿を描き、影響を受ける公共交通への支援を。波乱含み。

「新料金をスタはいけない」と飯島知事は、あくま開始の6月前の。限3千円とするの橋を造ったのは地便性を高めるためで橋の通行料金、で、フェリーにプアの利用があり、共栄が図られて、が、橋が使われずていた。フェリーであれば、橋と離るに国が固定費をよにしない。全国一律の料金距離に応じた利用対距離制を前提ば、橋自体の料金

求められる弾力的運用

と取引のある岡山や関西などの企業にとって、マイナスイタが企業にと考えられる。

ある。外国では高速道は無料だと言われるが、維持管理費が賄えなくなっているため、

フランスやドイツは有料化の方向に向かっている。フェリーを維持するのに上

中村良平・岡山大大学院教授に聞く

本四道が一般高速道より千円高い上限3千円(普通車)に設定された。これまで瀬戸大橋の料金が割高と言われてきたが、一般高速道が上限2千円の中での割高は、さらに高い関所に造り替える感がある。四国経済がダメージを受けるだけではなく、四国



全国一律の料金距離に応じた利用対距離制を前提ば、橋自体の料金

た6月実施予定の高速道路の新料金で、瀬戸大橋など本州四国連に設定されたことに、岡山、広島、香川県など関係自治体が反発を。事らは、国交省や与党・民主党幹事長室に是正を要望。参院選を要請もあり、国会審議で見直しの可能性も出てくる中、本四道の（岡山一郎、藤岡慎吾）

「東京や大阪から西に車で千円が必要となる。行くのに、九州は2千円でできるが、四国へは5千円かかる」と訴えた。

4月21日、国会内の民主党幹事長室で、真鍋武紀香川県知事はこう指摘し、「四国は条件不利地域となり、経済などに影響する」と訴えた。

新料金では普通車の上限が一般高速道2千円に対し、本四道は別料金で上限3千円。一般高速道も利用すれば計5千円が必要となる。

国が示した新たな高速道路の料金設定と、瀬戸大橋など本州四国連絡道路の料金について、中村良平・岡山大学院教授（地域公共政策）に聞いた。（池葉須則夫）

本四道が一般高速道より千円高い上限3千円（普通車）に設定された。これまで瀬戸大橋の料金が高く関所と言われてきたが、一般高速道が上限2千円の中での割高は、さらに高い関所に造り替える感がある。四国経済がダメージを受けるだけでなく、四国

は、瀬戸大橋開通以来の課題でもある。

出資金負担

「事前の連絡がなく発表され、極めて遺憾。現況では出資に応じる考えはない」。石井正弘岡山県知事が23日の記者会見で指摘したように、地元自治体の不満は出資金負担にも向けられている。

本四道では岡山、広島、香川県など関係10府県市が、建設債務償還のため1970年度から出資金を負担してきた。2009年度、岡山、香川県が26・5億円、広島県が53億円など。地方側負担の累計は5千億円近くに上

見直しの可能性

参院選野

た。加戸守行愛媛県知事は、地域が出資している本四道の料金が高く、出資がない一般高速道の方が安い。社会正義に反している」と憤る。

タイムリミット

国交省が本四道を割高にした理由は、「フェリーやJRへの配慮」。本四道の料金値下げには、本四間の総合的な交通のあるべき姿を描き、影響を受ける公共交通への支援

を含む総合的な交通体系を話し合う「四国地域における交通のあり方に関する懇談会」（仮称）の設置だ。

波乱含みの審議

「新料金をスタートさせてはいけない」と飯泉嘉門徳島県知事は、あくまでも新料金開始の6月前の是正を求め

新料金は値上げとなるケースが多く、民主党が掲げた高速道の原則無料化方針」と矛盾し、参院選を前に国民の理解が得られないとの懸念からだ。

同首脳会議では、本四道の料金見直しについて具体的な言及はなかったというが、出席した山岡賢次党国対委員長は、難しい問題ではなく、その気になればすぐ直せる話だ」と是正の可能性を示唆した。

求められる弾力的運用

と取引のある岡山や関西などの企業にとって、マイナス効果が出ると考えられる。自民党政権時に経済対策として始まった高速道の休日千円割引は、観光地などが若干潤った感はあるが、二酸化炭素(CO₂)などの排出量増を招いている。高速道料金には、急ぐ人が普通の道路より高いサービスの提供を受け、対価を払うという「応益原理」が



中村良平・岡山大学院教授に聞く

限3千円とするのは間違い。橋を造ったのは地域全体の利便性を高めるためだ。これまでの橋の通行料金が高いことで、フェリーにプラスアルファの利用があり、一見、共存共栄が図られているようだが、橋が使われず無駄になっていた。フェリーを生かすのであれば、橋と競争できるように国が固定費を補てんするようにはしない。

全国一律の料金ではなく、距離に応じた利用料金になる対距離制を前提にするならば、橋自体の料金は2千円台が求められる。